ユーザーズマニュアル

ver. 1.3 (J)

iAUDIO 6

一般

- COWONは(株)コウォンシステムの登録商標です。
- 本製品は家庭用であり、営業用として利用することはできません。
- 本マニュアルは(株)コウォンシステムがすべての著作権を所有しており、本マニュアルの一部分または全部を無断配布することは一切禁止されています。
- JetShell、jetAudioの変換機能を利用して生成したファイルを個人的な用途の他に商業的に使用したり、サービスの目的で使用することは著作権法に抵触する行為です。
- (株)コウォンシステムはレ音楽/ビデオ/ゲーム関連法令を遵守しています。これ以外の一切の成文化された関係法令を遵守することは実際のユーザの責任です。
- 本マニュアルに記載された各種の操作説明および図表、写真は予告なしに変更されることがあります。
- 本マニュアルに表示された製品の機能または規格は、性能向上のために予告なしに変更されることがあります。

BBE 関連

- BBE Sound、Inc.のライセンスにより生産されます。
- USP4638258、5510752 および 5736897 により BBE Sound、Inc. がライセンス権を保有しています。
- BBE および BBE のシンボルは BBE Sound、Inc. の登録商標です。

ホームページの紹介

- 製品関連のホームページは http://www.cowonjapan.com です。
- ホームページでは様々なコウォン製品の最新情報と最新技術が適用されたファームウェアおよび有用なソフトウェアなどをダウンロードすることができます。
- 初めてご使用になるお客さまのために、別途FAQおよびQ＆Aを提供しています。(ホームページ内のQ＆Aのご利用には、会員登録が必要です)
- ホームページにて会員登録された後、パッケージに同封されたCD-Keyと製品裏面にあるシリアル番号を使用し、製品登録をされますと正会員に昇級します。
- CD-Key及びシリアル番号は理由の如何に拘わらず再発行されませんので、製品購入後直ちに登録されることをお奨めします。

iAUDIO 6

製品使用時の注意事項

- ユーザーズマニュアルに記載されている内容以外の他の目的で製品を使用しないで下さい。
- 製品包装箱、ユーザーズマニュアル、付属品を扱われる際に手を切る等ケガに注意下さい。
- 機器を水の中に落としたり、湿気の多いところに長時間保管しないで下さい。水没による障害の場合、無償アフターサービスを受けることができませんし、機器自体の使用が全く不可能になる場合もあります。
- 機器を任意に分解または改造した時は、無償アフターサービスを受けることはできません。
- USBケーブルの使用時、挿入方向に注意して下さい。USBケーブルを逆に挿入した場合、パソコンや機器の破損の恐れがあります。またUSBケーブルを無理に曲げたり重い物を載せた状態で利用することは避けて下さい。
- 機器に強い衝撃を与えないで下さい。ご利用中に機器が焦げる臭いがしたり、異常な発熱が見られる場合は、リセットを押して製品の動作を中止した後、ホームページ(www.cowonjapan.com)またはサポートセンターへお問い合わせ下さい。
- 濡れた手で機器を扱った場合、誤動作することがあります。
- ボリュームを上げた状態で長期間聴取した場合、聴力に問題が発生することがありますので、特に注意して下さい。
- 製品を利用する際、静電気の発生が激しいところは避けて下さい。誤動作を起こすことがあります。
- 製品の修理サービスを依頼する場合、必ず事前に機器に保存されたすべてのデータを直接バックアップして下さい。修理中に機器に保存されたすべてのデータが削除されることがあります。アフターサービスの際、機器の中に保存されたデータを削失したことに関しては、弊社はこれに対する責任を負いません
- ACアダプタとUSBケーブルは必ずコウォンで提供する純正部品のみをご利用下さい。
- 雷や稲妻が走る天気には、落雷および火災の危険がありますので、必ずパソコンおよびACアダプタのコンセントを抜いて下さい。
- 製品を保管する際は、高温の場所や寒いところはできる限り避けて下さい。外観の変形や製品内部の損傷、液晶表示の誤動作を起こすことがあります。
- 本商品を携帯用データ保存媒体としてご使用になる場合、万一に備えて重要なデータは必ずバックアップされることをお奨めいたします。データが消失した場合、弊社はこれに対する責任を負いません。
- 本製品は状況により予期されない大幅な価格の変動が起こることがありますが、この場合に価格補償は行われません。

ご使用の前に

iAUDIO 6とは?

(株)コウォンシステムで製造生産するマルチメディアプレーヤーに対するブランドで、MP3ファイルを含む多数の音声ファイルおよび動画再生機能、FMラジオ聴取/録音機能、内蔵マイクまたはラインイン入力端子を通したレコーディング、テキストおよびイメージビューアー、OTG(USBホスト機能)をサポートするポータブルデジタルオーディオ機器です。

携帯に便利な洗練された感覚の小型デザイン
iAUDIO 6は 76.1 X 35.6 X 19 mm(突起部を除く)のコンパクトデザインで携帯に便利です。

0.85インチHDD搭載MP3プレーヤー
世界で初めて0.85インチHDDを搭載し、技術力で一歩先を行きます。iAUDIO 6は最大200個のフォルダ、2000個のファイルを認識できます。

リチウムポリマー充電池を内蔵し、最大20時間連続再生※
節電回路を使用することにより、満充電後最大20時間の連続再生が可能です。
(※COWON社テスト環境基準による。周辺環境や使用状況により変動することがあります)

強力な音楽フォーマットのサポート
MP3、OGG、WMA、WAVはもちろん、無損失圧縮コーデックであるFLACをサポートします。

動画再生
jetAudio VXを利用して、最大毎秒15フレームの動画に簡単に変換および転送が可能です。転送された動画ファイルはiAUDIO 6で再生可能です。

便利なテキストおよびイメージビューア
テキストファイルおよびイメージファイルを簡単にiAUDIO 6で見ることができます。テキストファイルの場合、音楽を聞きながら見ることもできます。

USB Host(OTG)機能
iAUDIO 6のUSB Host機能を利用するとデジタルカメラやUSBメモリ等のUSBストレージからiAUDIO 6にファイルを転送し、画像の閲覧や音楽を再生することができます。(* サポート対象外のデジタルカメラ、USBメモリもあります。

ボイスレコーディング　(音声録音)
内蔵マイクを利用して、音声録音(ボイスレコーディング)が可能です。この機能を利用して簡単な会議や講義などを録音できます。

ダイレクトエンコーディング　(Line-in録音)
外部音響機器の音声出力を1対1で、録音できるダイレクトエンコーディング機能を提供します。この機能はLine-In端子と外部音響機器の出力端子をラインインケーブルに接続して録音することを意味します。この機能を利用すればカセットテープ、MD (mini disk)、レコード版(LP)、TVなどの音響機器から直接音声をiAUDIO6に録音できます。

FMラジオの聴取/録音
FMラジオの聴取ができ、聞いている放送を録音(予約録音を含む)することができます。特にこの機能は語学勉強に役立つように活用できます。そして受信周波数をチャンネル番号として保存できるプリセット(Preset)機能を提供します。

広くて華麗なColor OLED
1.3インチ260,000 色 OLEDを搭載することにより、一目で機器の全般的な動作状態を確認することができます。

全世界が認めた最強の音場
全世界が認めたiAUDIOだけの強力かつ繊細な最強のサウンドをお聞かせします。下記のすべての音場効果を利用することができます。
BBE: 音楽を鮮明にする音場効果
Mach3Bass : 超低域を強調するベースブースター
MP Enhance : 失われた音の部分を補償する音場効果
3D Surround : 立体音響

ファームウェアのアップグレードで常に新しく
ファームウェアのアップグレード機能を利用して性能を向上させることができます。非定期的に持続的なファームウェアを提供し、実際のユーザーからの要求と提案をサポートします。

リムーバブルディスク機能
パソコンとUSBケーブルで接続すればリムーバブルディスクとして直ちに認識されます。別途、小容量のUSBドライブは必要ありません。

JetAudioの提供
世界的な統合マルチメディア再生ソフトウェアであるjetAudio Basic VXを提供します。追加のプログラムなしにjetAudioの変換ツールを利用して、簡単に iAUDIO 6用の動画および音楽の変換が可能です。

パッケージの構成品

クイックガイド
インストールCD(JetShell、JetAudio、オンラインユーザーズマニュアル)

イヤホン

iAUDIO (MP3プレーヤ本体)

USBホストケーブル

USBケーブル、Line-inケーブル

電源アダプタ(別売)

機能および仕様

- MP3、OGG、WMA、ASF、FLAC、WAV、動画再生、FMラジオの聴取および録音、音声録音、Line-In録音
- TXT(テキスト)、JPEG(イメージ)ファイル ビューア(イメージ拡大、壁紙の指定)
- 0.85インチHDD内蔵(4GB)
- USB Host (ファイルのコピー/削除)
- USB 2.0 インターフェース
- 260,000色表示1.3インチOLED、解像度 160x128
- 長時間再生: 最大20時間再生(COWON社テスト基準、OLED利用時は再生時間が減少することがあります。使用環境により変化することがあります)
- 多国語表示のサポート
- 向上した統合ファイル検索モード
- 再生/一時停止、録音/録音中の一時停止
- 次の曲/前の曲、早送り/巻き戻し、区間無限リピート
- 再スタート(Resume)、フェードイン(Fade In)、自動再生(Auto Play)機能のサポート
- 検索速度(Scan Speed)、スキップ間隔(Skip)速度の設定
- デジタル ボリューム調節 40段階
- さまざまなEQおよび音場効果
  ユーザー調節が可能な5バンドEQ
  ノーマル、ロック、ポップ、ジャズ、クラシック、ボーカル、User
  BBE、Mach3Bass、MP Enhance、3D Surround
- 時計、アラーム、予約録音、スリープタイマー、自動電源オフ
- OLED自動オフ時間調節
- 簡単なファームウェア ダウンロードおよびアップグレード
- ID3 Tag、Filename(ファイル名) 表示サポート
- 機器情報の確認(ファームウェア バージョン、全体容量、残り容量)

- lMAC OS X(10.X)、USBデータ転送サポート(MAC OS用ソフトウェアは付属しません)
- ソフトウェア(Windows用のみ)
  - JetShell (ファイル転送、MP3/WMA/WAV/AUDIO CD PLAY)
  - jetAudio VX (統合マルチメディア再生ソフトウェア、音楽/動画変換機能)

ファイルサポート	MP3 : MPEG 1/2/2.5 Layer 3, ~320Kbps、～48KHz、Mono/Stereo、VBR/CBR WMA : ～256Kbps、～48KHhz、Mono/Stereo、VBR/CBR OGG : ~q10, ~44.1KHz、Mono/Stereo FLAC : 圧縮Level 0 ～ 8、～44.1KHz、Mono/Stereo WAV : ～48KHz、16bit、Mono/Stereo Video File up to 160*128 JPEG(プログレッシブJPG を除く) TXT
ハードディスク	0.85インチ 4GB
USB 接続	パソコン接続時:USB 2.0、USB Host時:OTG (USB 1.1相当)
ファイル転送速度	最大30Mbps (読み込み時最大40Mbps)
電源	内蔵リチウムポリマー充電池 (最大20時間再生、COWON社テスト環境基準。使用環境により変化することがあります)
充電時間	約3時間 (USB、ACアダプタ共に)
ボタン	Swing Touch(REC、<、>、PLAY)、Power/Hold、VOL+、VOL-、MENU
表示	1.3インチ160 x 128 dot、260,000 color OLED
SNR	95dB (A-Weighted)
出力周波数	20Hz～20KHz
出力	16Ωイヤホン接続時 : 30mW + 30mW
寸法	76.1 X 35.6 X 19 mm (幅x高さx奥行き。突起部を除く)
重量	60g (リチウムポリマー充電池含む)

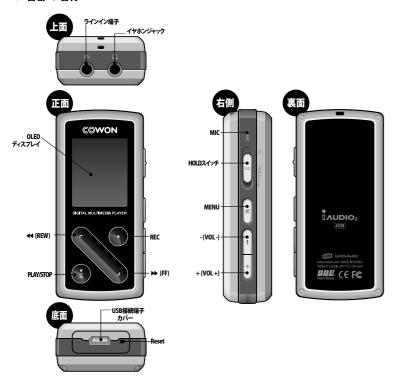
5. 各部の名称

上面
ラインイン端子
イヤホンジャック

正面
OLED ディスプレイ
DIGITAL MULTIMEDIA PLAYER
◀◀ (REW)
REC
PLAY/STOP
▶▶ (FF)

右側
MIC
HOLDスイッチ
MENU
- (VOL -)
+ (VOL +)

裏面

底面
USB接続端子 カバー
Reset

6. OLEDによる動作状態の表示

バッテリーの残量アイコンは、バッテリーの使用可能時間を表示します。バッテリーの消耗に応じて残量が減ります。一部のバッテリーの場合、残量を測定(センシング)するとき、残量アイコンが不規則に増減することがありますが、これは異常ではありません。

バッテリーの残量がほぼなくなると、アイコンが点滅を始めます。点滅を始めてから約30分間動作した後、自動的に電源が切れます。

iAUDIO 6を充電するためにはＵＳＢケーブルでパソコンに接続するかＡＣアダプタを接続します。

7. パソコンによる充電

1. 付属のUSBケーブルでiAUDIO 6のUSB端子とパソコンを接続します。
2. 正しく接続された場合、LCDに次のような画像が表示され、同時に充電されます。
3. パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」をした場合、充電状態を確認できます。

- 初めてのご使用の際や長期間使用しなかった後に使用する場合、パソコンに接続して十分充電してからご使用下さい。
- USBハブを利用した場合、USB電源を利用した充電はサポートされません。必ずパソコン本体背面のUSBポートに直接接続するようお願います。
- 「ハードウェアの安全な取り外し」の方法は「パソコン接続およびファイル保存」を参考にして下さい。
- Windows 98SEでは「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンが表示されないことがあります。
- 旧型のノートパソコンやPCカードタイプの増設されたUSB端子では、供給電力が十分でないために、充電完了までに時間が掛かる場合や、パソコンの動作が不安定になることがあります。

ACアダプタによる充電

1. ACアダプタをコンセントとiAUDIO 6のUSB端子に接続します。
2. 接続の際、自動的に電源が入り同時に充電が始まります。
3. 充電が完了するとOLEDに次のような画像が表示されます。

- 初めてのご使用の際や長期間使用しなかった後に使用する場合は、必ずACアダプタで十分に充電をした後ご使用下さい。
- 使用上の安全のため、必ず純正品ACアダプタのみご利用下さい。
- 純正品ＡＣアダプタは110Ｖ別売です

8. Windows 98SE ドライバのインストール

Windows 98SEを使用する場合、初めてパソコンと接続した際に別途、ドライバのインストールが必要です。
*Windows 2000以降のOSでは自動的にiAUDIO 6を認識します。

■ **ドライバのインストール方法**

1. USBケーブルで製品とパソコンを接続します。

2. 次のような「新しいハードウェアのインストールウィザード」画面が現れます。次をクリックします。

▼

3. 装置に最も適当なドライバー検索(推奨)をクリックした後、次をクリックします。

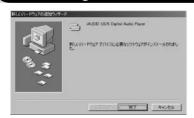
4. 検索場所の指定(L)をクリックして参照ボタンをクリックします。

▼

5. CD-ROMドライブ内の「Win98」フォルダを選択した後「OK」ボタンをクリックします。(該当ファイルは弊社ホームページ(www.cowonjapan.com)のダウンロードのページからもダウンロードできます。)

▼

6. 検索する位置を指定したら次をクリックします。

▼

7.続けて次をクリックします。

8. 完了ボタンをクリックするとドライバーの設置が終了します。デバイスマネージャまたはエクスプローラで新しく追加されたドライブを確認することができます。

9. パソコンとの接続およびファイルの保存

1. 付属のUSBケーブルでUSB端子とパソコンを接続します。

2. 正しく接続された場合はOLEDに次のような画像が表示されます。

3. Windows　エクスプローラで新しく追加されたドライブを確認できます。

4. Windows エクスプローラまたはJetShell Proを実行します。
5. パソコンにある音楽ファイル、イメージファイル、エンコーディングされた動画ファイルおよびその他iAUDIO 6で使用するファイルを「iAUDIO」ドライブに転送(コピー)します。
6. ファイルの保存が終わったらタスクトレイに表示された アイコンをマウス左ボタンでクリックします。
7. 次のようなメッセージが表示されたらクリックします。

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:) を安全に取り外します

8. 「ハードウェアの完全な取り外し」メッセージが表示されたらUSBケーブルをはずします。

-本製品が最大で認識できるフォルダ数は200個およびファイル数は2000個です。
-マイコンピュータまたはWindows エクスプローラで「iAUDIO」というドライブが見えない場合、パソコンとの接続および設定を確認された後、再度接続して頂くようお願いします。(* Windows 98SEの場合ドライバのインストールが必要です)
-USB接続状態で「ハードウェアの安全な取り外し」をすると充電モードのみ動作します。ファイルを転送する場合、iAUDIO 6を外した後に再度接続して下さい。
-Windows 98SEではハードウェアの安全な取り外しアイコンが表示されないことがあり、この場合JetShellを終了した後(または転送画面が閉じたことを確認した後)USBケーブルを外して下さい。
-次のようなメッセージが表示された場合、製品の異常ではありませんので、しばらく後に再度「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してください。

10. ファームウェア(Firmware)について

ファームウェアはハードウェアに内蔵されているプログラムです。
アップグレードすることにより製品の機能向上や、不具合を修正することができます。
アップグレードすることにより、性能およびメニューが予告なしに変更されることがあります。また、一部のベータ版ファームウェアには正式版ファームウェアで修正される予定のわずかな誤動作が存在する可能性があります。
現在のファームウェアバージョンは[設定](Settings) - [情報](Information)で確認できます。
ファームウェアのアップグレード時、保存されたデータが削除されることがありますので、必ずパソコンにバックアップを行って下さい。
ファームウェアアップグレードの方法はバージョンにより異なることがあります。詳しい内容は弊社ホームページ(www.cowonjapan.com)を参考にして下さい。

1. 簡単な使用方法

1. 本体にイヤホンを接続します。
2. 電源スイッチを左側に暫く(1~2秒)引くと電源が入ります。
3. 初期画面および設定したロゴの後、待機画面が現れます。(設定により自動的に再生するようにできます。)
4. [PLAY] ボタンをタッチすると音楽を再生します。
5. [<]、[>] 方向にタッチすると他の曲を再生したり再生中の曲の検索が可能です。
6. 電源スイッチを再度左側に暫く(1~2秒)引くと電源が切れます。

- 録音中に電源を切ることはできません。
- ACアダプタを接続している状態では、充電しながら使用が可能です。

2. モード切替のための基本操作

7種類のモード(音楽、ビデオ、FMラジオ、録音、写真、テキスト、USB Host)があります。
[MENU] ボタンを一度押すとファイル表示モード、もう一度押すとモード切替画面が表示されます。
[MENU] ボタンを二度押してモード切替画面が表示されたら [<]、[>] 方向にタッチして好きなモードに移動します。
好きなモードに移動した後、[PLAY] ボタンをタッチすると選択したモードに切替わります。
モード切替操作を取消して本来のモードに戻る場合、再度 [MENU] ボタンを押するか [REC] ボタンをタッチします。

3. 設定変更のための基本操作

▪ **項目の移動**

- [MENU] ボタンを二度押し、モード切替画面が表示された後 [<]、[>] 方向にタッチして設定に移動します。
- 選択したメニューに移動するためには [PLAY] ボタンをタッチします。
- 上位メニューに移動する時は [REC] ボタンをタッチします。(モード切替画面の時は以前のモードへ戻ります)

▪ **項目値の調節**

- 各項目で [PLAY] ボタンをタッチすると項目値を設定するポップアップ画面が表示されるか設定が適用されます。(項目によってはカーソルの移動となります)
- [<]、[>] 方向にタッチして、お好みの値に調節します。
- お好みの値に設定したら [PLAY] ボタンをタッチします。調節された値は直ちに適用されます。

▪ **項目設定を取消し、画面を閉じる**

[MENU] ボタンを押すと現在設定中であった項目の値を取消して以前のモードに戻ります。

▪ **イコライザー(Equalizer)メニュー項目設定**

- [JetEffect] - [Equalizer] メニュー項目から入ります。
- [<]、[>] 方向にタッチして設定されているEQを選択します。
- [PLAY] ボタンをタッチしてEQの各バンドを移動して詳細設定ができます。
- 選択されたバンドで [<]、[>] 方向にタッチして、各バンドのdBレベルを調整することができます。(-12dB ~ 12dB)
- [REC] ボタンをタッチすると左側に移動し、続けてタッチした場合上位メニューに移動します。

4. ファイル検索のための基本操作

▪ **ファイル表示モードを開く**

- [MENU] ボタンを一度押すとファイル表示モードが表示されます。
- 音楽、ビデオ、録音、写真、テキストモードの場合、ハードディスク内のフォルダ、ファイルを検索するためのファイル表示モードが開きます。
- FMラジオモードでは、周波数プリセット(Preset)を表示して設定するためのプリセット表示モードが開きます。
- USB Hostモードは基本的にファイル表示モード状態です。

▪ ファイル表示モードの項目移動
- ファイル表示モードのカーソルを上下移動するには[<]、[>]方向にタッチします。
- 下位フォルダ内への移動は[PLAY]ボタンをタッチします。
- 上位フォルダへの移動は[REC]ボタンをタッチします。(最上位フォルダの場合、ファイル表示モードが閉じます)

▪ ファイル表示モードの項目選択
- 選択されたファイル項目に対して[PLAY]ボタンをタッチすると該当ファイルを再生します。
- 選択されたフォルダ項目に対して[PLAY]ボタンをタッチすると該当フォルダに移動します。

▪ ファイル表示モードを閉じる
- [MENU]ボタンを二度押すか、最上位フォルダで[REC]ボタンをタッチするとファイル表示モード画面を閉じます。

5. ポップアップメニューを利用した基本操作

- [PLAY]ボタンを長くタッチすると各モードで適切なポップアップメニューが表示されます。
- [<]、[>]方向にタッチして、お好みの項目に移動して[PLAY]ボタンをタッチすると項目が選択されます。
- [REC]ボタンをタッチした場合ポップアップメニューを取消します。

モード	ポップアップメニューの内容
音楽、ビデオ モード	歌詞(動画を除く)、DPLへ追加、Bookmark
FMラジオ モード - プリセット表示モード	チャンネルを聞く、現在のチャンネルを保存、チャンネル削除
ファイル表示モード - ファイル	再生、リストに追加
ファイル表示モード - フォルダ	拡張、再生(動画を除く)、リスト追加
ファイル表示モード -DynamicPlayListファイル	再生、削除、全て削除
ファイル表示モード –Bookmark ファイル	再生、削除、全て削除
写真モード-ファイル表示モード - イメージファイル	ビュー、壁紙、スライドショー
USBHostモード - ファイル	コピー、貼り付け、中に貼り付け、削除
USBHostモード - フォルダ	コピー、貼り付け、削除

1. 音楽、ビデオモード(マルチメディアファイルの再生)

音楽およびビデオモードは保存されている音楽ファイルおよび動画ファイルを再生するモードです。

■ マルチメディアファイルの再生

1. 電源を入れた後[音楽]または[ビデオ]モードに移動します。
2. [PLAY]ボタンをタッチして、音楽ファイルまたは動画ファイルを再生します。
3. 再生中に[PLAY]ボタンをタッチすると一時停止します。
4. 再生中に[<]、[>]方向に短くタッチすると他のファイルを再生できます。
5. 再生中に[<]、[>]方向に長くタッチすると、早送り/巻き戻しができます。

- 動画ファイルはjetAudio VXを使用してコンバートしなかった場合、正常な動作を保証しません。
- 自動再生が設定されている場合、電源を入れると自動的にファイルを再生します。
- 再スタートが設定されている場合、電源を入れると最後に聞いた部分から続けて再生します。
- 再生中に表示される音楽ファイルの情報は[設定]-[画面]-[タイトル]で設定します。
- 保存されたファイルが多い場合、画面が出るまで時間が多少長くかかります。
- 音楽およびビデオモードでは認識可能な最大フォルダ数は200個、ファイル数は2000個です。(再生可能な音楽および動画ファイルの上限です。それ以外のファイルは制限がありません)

■ 区間リピート設定

区間リピートとは、ユーザが繰り返し聞きたい部分を設定して選択された範囲内で再生をする機能です。

1. Musicモードで音楽ファイル再生中、区間リピートを始めたい時点で[REC]ボタンをタッチすると上段ステータスバーに アイコンが表示されます。
2. 区間リピートの終点でもう一度[REC]ボタンをタッチすると にアイコンが変わり、設定した区間を繰り返し再生します。
3. 区間リピートを解除する時は[REC]ボタンをもう一度押します。

- 少なくとも1秒以上の区間を設定しなければなりません。
- 区間リピート設定中に他の曲を選択すると区間リピートが解除されます。
- 音楽ファイルのみ設定可能で、動画ファイルの場合は区間リピートを設定できません。

■ ダイナミック プレイリスト(以下DPL)の設定

ユーザーが選んだ曲だけを簡単にリストに編集して聞くことができる機能です。
iAUDIO 6にはパソコンでは認識されない「Dynamic Play List」という特殊フォルダがあります。
ユーザーが「Dynamic Play List」フォルダ内のリストへ追加/削除して、リスト中のファイルのみを再生できます。

■ DPLに曲を追加

■ DPLから曲を削除

長く

1. 再生中のファイルを追加するためには[PLAY]ボタンを長くタッチして、ポップアップ画面を表示させた後「DPLへ追加」を選択します。
2. 特定ファイルまたはフォルダを追加するためには、ファイル表示モードでファイル又はフォルダ上で[PLAY]ボタンを長くタッチして、ポップアップ画面を表示させた後「リストに追加」を選択します。
3. DPLのファイルを削除する場合は「Dynamic Play List」フォルダに移動後、削除したい曲にカーソルを合わせてから[PLAY]ボタンを長くタッチしてポップアップ画面を表示させた後、「削除」を選択します。
4. DPLを全て削除する場合は「Dynamic Play List」フォルダに移動後、[PLAY]ボタンを長くタッチしてポップアップ画面を表示させた後「全て削除」を選択します。

- お好みのフォルダを選択して「リストに追加」で追加をすると、フォルダ内の全ての曲がDPLに追加されます。
- [MENU]ボタンと[REC]ボタンにDPL追加機能を設定することができます。この場合、ファイルを再生している状態で該当ボタンを長く押した場合「Added to DPL」というメッセージが表示され、DPLに再生中の曲が追加されます。
- 「Dynamic Play List」フォルダからファイルを削除する操作はリンクの削除であるため、該当ファイルを削除する場合はUSB Hostモードまたはパソコン接続後に削除して下さい。
- DPLに設定されているファイルを削除すると、保存されているDPLファイルは自動的に削除されます。
- DPLに追加が可能なファイル数は最大200個です。

Bookmark(ブックマーク)の設定

ブックマーク機能はお各ファイルのお好みの開始位置を設定する機能です。
iAUDIO 6にはパソコンでは認識されない「Bookmark」という特殊フォルダがあります。
ブックマークを設定すると、いつでもその位置からファイルの再生が可能になります。

■ Bookmarkに曲を追加

■ Bookmarkから曲を削除

1. 再生中のファイルにブックマークを設定する場合は[PLAY]ボタンを長くタッチして、ポップアップ画面を表示させた後「Bookmark」を選択します。
2. すでにブックマークが設定されているファイルの場合、該当位置にブックマークが変更されます。
3. ブックマークが設定された位置からファイルを再生するには、「Bookmark」フォルダから該当ファイルを選択します。
4. ブックマークファイルを削除する場合は「Bookmark」フォルダに移動後、削除したいファイルにカーソルを合わせてから[PLAY]ボタンを長くタッチして、ポップアップ画面を表示させた後「削除」を選択します。
5. ブックマークファイルを全て削除する場合は「Bookmark」フォルダに移動後、[PLAY]ボタンを長くタッチして、ポップアップ画面を表示させた後「すべて削除」を選択します。

- [MENU]ボタンと[REC]ボタンにブックマーク追加機能を設定できます。この場合、音楽ファイルを再生している状態で該当ボタンを長く押すと「Added to Bookmark」というメッセージが表示され、ブックマークにファイルが追加されます。
- 「Bookmark」フォルダからファイルを削除する操作はリンクの削除であるため、該当ファイルを削除する場合はUSB Hostモードまたはパソコン接続後に削除して下さい。
- ブックマークが設定されている曲を削除すると保存されているブックマークファイルは自動的に削除されます。
- ブックマークに追加可能なファイル数は最大200個です。

2.FMラジオ モード(FMラジオを聴く)

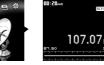
FMラジオモードは内蔵チューナーを利用して、FMラジオ放送を聞くことのできるモードです。

FMラジオを聞く

1. 製品の電源を入れた後、[FMラジオ]モードに移動します。
2. [<]、[>]方向に短くタッチすると、0.1Mｈｚずつ受信周波数が変化します。
3. [<]、[>]方向に長くタッチすると自動的に、受信状態が良好なチャンネルを検索します。

- 製品の電源を切る前に[FMラジオ]を聴いていた場合、電源を入れると同時に[FMラジオ]モードが実行されます。
- イヤホンはFMラジオのアンテナの役割をしますので、イヤホンケーブルを出来るだけまっすぐに長く伸ばすほど受信感度は良くなります。

プリセット(Preset)の設定

よく聞く周波数を設定しておくことで、聞きたい周波数をすぐに選択できるようになります。

1. 製品の電源を入れた後、[FMラジオ] モードに移動します。
2. よく聞く周波数を選択した後 [PLAY] ボタンをタッチすると、左下に [PRESET] と表示され、プリセットモードになります。
3. [MENU] ボタンを押してプリセット表示モードに移動します。
4. 現在受信中の周波数を設定したい番号を、[<]、[>] 方向にタッチして選択した後 [PLAY] ボタンを長くタッチして、ポップアップ画面を開きます。
5. 「現在のチャンネルを保存」を選択すると、現在指定している番号に受信中の周波数が保存されます。
6. 「チャンネルを聞く」で既に設定されている周波数を聞いたり、「チャンネル削除」で不要な設定を削除することができます。
7. プリセットモードで再度 [PLAY] ボタンをタッチすると、左下の [PRESET] 表示が消えて、[<]、[>] 方向で検索が可能な標準モードに変わります。

- プリセット (Preset) 表示モードで設定された周波数がない場合、周波数の移動および検索は行われません。
- プリセット (Preset) は最大24個まで設定が可能です。

■ **FMラジオの録音**

1. 製品の電源を入れた後、[FMラジオ] モードに移動します。
2. 録音したい周波数を受信状態にします。
3. 録音したい時点で [REC] ボタンをタッチすると録音が始まります。
4. 再度 [REC] ボタンを押すと録音が終了します。

■ **FMラジオのタイマー予約録音**

1. 【4. 設定の機能説明 – 6. タイマー】を参考にしてiAUDIO 6 の時刻設定をします。
2. [MENU] ボタンを2回押して [設定] – [タイマ] のアラームモードで [FM録音] を選択します。
3. [設定] – [タイマ] の [モーニングコール時刻] でタイマー予約録音の開始時間を設定します。
4. 設定された時間になると自動的に電源が入り、録音が始まります。

- 電源を切る前に設定されていた周波数又はプリセットの放送を録音します。予め受信状態の確認をされることをお勧めします。
- 録音ファイルは最上位フォルダの「RECORD」フォルダに保存されます。
- 録音時には普段より多くのバッテリーを消費しますので、録音の前には十分に充電をおこなって下さい。
- 録音の品質と容量は、電波の受信状態と録音の品質設定によります。設定については【4. 設定の機能説明 – 8. 録音】を参考にして下さい。

3. 録音モード(内蔵マイク又はラインインケーブルでの録音)

録音モードは内蔵マイクを利用した音声録音や同梱されているラインインケーブルを使用して他の音響機器 (CDプレーヤー等) の音を録音する機能です。

■ **音声の録音**

1. 製品の電源を入れた後、[MENU] ボタンを2回押して [設定] – [録音] – [録音モード] を [Voice] に設定します。
2. [MENU] ボタンを2回押して [録音] モードに移動します。
3. [REC] ボタンをタッチすると、内蔵マイクを利用した音声の録音が始まります。
4. 録音中に [PLAY] ボタンをタッチすると一時停止し、再度 [PLAY] ボタンをタッチすると続けて録音されます。
5. 録音中に [REC] ボタンをタッチすると録音が終了します。
6. 録音されたファイルを聞くには、イヤホンを接続した後、[PLAY] ボタンをタッチします。

■ ラインイン録音

CDP再生

1. ラインインケーブルをCDプレーヤー等のイヤホン端子とiAUDIO 6のラインイン(Line-in)端子を接続します。
2. 製品の電源を入れた後、[MENU] ボタンを2回押して [設定] - [録音] - [録音モード] を [Line In] で設定します。
3. [MENU] ボタンを2回押して録音モードに移動します。
4. CDプレーヤー等の再生ボタンを押して、iAUDIO 6の [REC] ボタンをタッチすると録音が始まります。
5. 録音中に [PLAY] ボタンをタッチすると一時停止し、再度 [PLAY] ボタンをタッチすると続けて録音します。
6. 録音中に [REC] ボタンをタッチすると録音が終了します。
7. 録音されたファイルを聞くには、イヤホンを接続した後、[PLAY] ボタンをタッチします

- 内蔵マイクでの録音ファイルは最上位フォルダの「VOICE」フォルダ内に、ラインイン録音ファイルは「RECORDS」フォルダ内に保存されます。
- JetEffect、早送り/巻き戻しなどの機能を利用して録音したファイルを再生するには、[音楽] モードで録音したファイルを再生します。
- 製品の電源を切る時に [録音] モードだった場合、電源を入れると同時に [録音] モードが実行されます。
- 録音時には普段より多くのバッテリーを消費しますので、録音の前には十分に充電をおこなって下さい。
- 録音の品質と容量は録音の品質設定によります。設定については【4. 設定の機能説明 – 8. 録音】を参考にして下さい。

4. 写真モード(イメージビュー)

1. iAUDIO 6 をUSBケーブルでパソコンと接続します。
2. iAUDIO 6で見たい画像ファイルをiAUDIO 6の [PICTURE] フォルダに転送(コピー)します。
3. 「ハードウェアの安全な取り外し」をした後iAUDIO 6 とパソコンを取り外します。
4. 製品の電源を入れた後、[MENU] ボタンを2回押して [写真] モードに移動すると、iAUDIO 6 に保存された画像ファイルが一覧表示されます。
5. [<]、[>] 方向にタッチして、表示したいイメージを選択した後、[PLAY] ボタンをタッチすると画像が表示されます。
6. 表示中に [PLAY] ボタンをタッチすると拡大し、[<]、[>] 方向にタッチすると前/次の画像を表示します。
7. [MENU] ボタンを一度押すとファイル表示モードになり、画像ファイルで [PLAY] ボタンを長くタッチするとポップアップ画面が表示されます。
8. 「ビュー」を選択すると選択した画像が表示され、「壁紙」を選択すると該当イメージが壁紙に設定されます。表示設定については【4. 設定の機能説明 – 5. 画面】の壁紙設定を参考にして下さい。

- JPG(プログレッシブJPGを除く)以外の他の画像フォーマットはサポートしません。
- イメージファイルの容量が大きいほど表示時に多くの時間が必要となります。

5. テキストモード(テキストファイルビュー)

1. iAUDIO6をUSBケーブルでパソコンと接続します。
2. iAUDIO6で見たいテキストファイルを「TEXT」フォルダに転送(コピー)します。
3. 「ハードウェアの安全な取り外し」をした後、iAUDIO6とパソコンを取り外します。
4. 製品の電源を入れた後、[MENU] ボタンを2回押して [テキスト] モードに移動し、iAUDIO6に保存されたテキストファイルを選択すると内容が表示されます。
5. [<]、[>] 方向にタッチすると 1 行ずつ移動します。
6. 特定行に移動するには [PLAY] ボタンをタッチして移動する位置を [<]、[>] 方向、[PLAY] ボタンで指定した後、[REC] ボタンをタッチします。

- 音楽を聞きながらテキストファイルを表示することができます。
- テキストファイルは最大240KBまで表示できます。

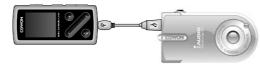
6. USB Hostモード(USBストレージにファイルを転送)

USB HostモードはiAUDIO6やUSBストレージのファイルおよびフォルダをコピー、削除する機能です。

■ iAUDIO6 内のファイル操作

1. 製品の電源を入れた後 [MENU] ボタンを2回押して [USB Host] モードに移動します。
2. iAUDIO6内のフォルダおよびファイルを確認できるファイル表示モードに変わります。
3. USB Hostモードでの操作は他のファイル表示モードと同じです。【2. 基本機能の使用法 – 4. ファイル検索のための基本操作】を参考にして下さい。
4. フォルダを選択した状態で [PLAY] ボタンを長くタッチするとポップアップ画面が表示されます。
   コピー : 選択されたフォルダをクリップボードにコピーします。
   貼り付け : クリップボードにコピーされている内容を現在のフォルダにコピーします。
   中に貼り付け : クリップボードにコピーされている内容を現在選択されているフォルダの中にコピーします。
   削除 : 選択されたフォルダを削除します。
5. ファイルを選択した状態で [PLAY] ボタンを長くタッチするとポップアップ画面が表示されます。
   コピー : 選択されたファイルをクリップボードにコピーします。
   貼り付け : クリップボードにコピーされている内容を現在のフォルダにコピーします。
   削除 : 選択されたファイルを削除します。

- iAUDIO6の最上 位フォルダは「iAUDIO」、USBストレージの最上位フォルダは「DEVICE」です。
- 複数ファイル/フォルダの選択はサポートしていません。一度に複数のファイルをコピーしたい場合は、フォルダ単位でコピーして下さい。
- クリップボードとは、ファイルおよびフォルダをコピーする時に、一時的に保存される空間のことです。
- コピーする際のファイルやフォルダ位置を記憶する文字数には制限があります。したがってあまり深い階層のフォルダのコピーは避けて下さい。
- USB Hostモードで認識可能なフォルダ数は最大200個、ファイル数は最大2000個です。

■ USBストレージの使用

1. USB HOSTケーブルを利用してiAUDIO6のUSB端子とUSBストレージのUSB端子を接続します。
2. 製品の電源を入れた後、[MENU] ボタンを2回押して [USB Host] モードに移動します。
3. フォルダおよびファイルのコピー、削除はiAUDIO内のファイル操作と同じです。但し、USBストレージ内のファイルやフォルダをiAUDIO6にコピーする時は 「DEVICE」に移動してフォルダおよびファイルをコピーした後、再び「iAUDIO」に移動した後に 「貼り付け」または「中に貼り付け」をして下さい。
4. コピーや削除が終わったら、USB HOSTケーブルを取り外します。

- USBストレージを初めて接続される際は、認識されるまで多少時間がかかります。
- 消費電力の問題や相性、特別なサポートが必要な機器等で認識できない場合、「DEVICE」フォルダが表示されません。(USBストレージはUSBマスストレージクラスに対応していることが必要です)
- 弊社でテストしたUSBストレージはホームページ(http://www.cowonjapan.com) で確認できます。
- 消費電力の大きいUSBストレージでは、認識できない場合や誤動作する恐れがあります。その場合には、USBストレージに付属のACアダプタ等をご使用ください。
- コピーする際のファイルやフォルダ位置を記憶する文字数には制限があります。したがってあまり深い階層のフォルダのコピーは避けて下さい。
- [USB Host] モードで認識可能な「Device」(USBストレージ) のフォルダ数は最大200個、ファイル数は最大2000個です。

7. 各ボタンの使用法

ボタン	説明
M	•1回押すとファイル表示モードが表示されます。 •2回押すとモード切替画面が表示されます。 •3回押すと最初の画面に戻ります。
+	•ボリュームを上げます。
−	•ボリュームを下げます。
	•ファイル再生中は区間リピートを設定します。 •録音モードでは録音を開始します。 •FMラジオモードでは録音を開始します。 •ファイル表示モードでは上位フォルダに移動します。 •設定では上位メニューに移動します。
	•ファイル再生中に短くタッチすると前のファイルが再生されます。 •ファイル再生中に長くタッチすると巻き戻しします。 •ファイル表示モードではカーソルを下に移動します。 •設定ではカーソルを下又は左に移動します。
	•ファイル再生中に短くタッチすると次のファイルが再生されます。 •ファイル再生中に長くタッチすると早送りします。 •ファイル表示モードではカーソルを上に移動します。 •設定ではカーソルを上又は右に移動します。
	•ファイル再生中に短くタッチすると一時停止します. (もう1度押すと再生) •ファイル再生中に長くタッチするとポップアップ画面が表示されます。 •FMラジオモードではタッチするとPRESET (プリセット) モードに変更します。 •ファイル表示モードで短くタッチすると選択したフォルダに移動するかファイルを再生します。 •ファイル表示モードで長くタッチするとポップアップ画面を表示します。 •設定では選択項目に入るか設定値を適用します。

- FMラジオモードではハッチするとPRESET(プリセット) モードに変更します。
- ファイル表示モードで短くタッチすると選択した移動するかファイルを再生します。
- ファイル表示モードで長くハッチするとポップアップ画面を表示します。
- 設定では選択項目に入るか設定値を適用します

1. 設定一覧表

Menu	音楽 ビデオ FMラジオ 録音 写真 テキスト USB Host 設定メニュー ▶
JetEffect	Equalizer BBE Mach3Bass MP Enhance 3D Surround パン(Pan) 再生速度(Play Speed) JetEffect プリセット(JetEffect Preset)
再生モード(Play Mode)	再生領域(Boundary) リピート(Repeat) シャッフル(Shuffle)
画面(Display)	言語(Language) タイトル(Title) 再生時間(Play Time) アルバム名のスクロール(Album Scroll) タイトルスクロール(Title Scroll) スクロール速度(ScrollSpeed) 壁紙(Wallpaper) 歌詞(Lyrics) 自動待機 (Auto Display Off) 明度(Brightness)
タイマー(Timer)	時間設定(Time Setup) アラームモード(Wakeup Mode) モーニングコール時刻(Wakeup Time) スリープ(Sleep) 自動電源オフ(Auto Off)
一般(General)	スキップ間隔(Skip Length) 検索速度(Scan Speed) Silent Scan 再スタート(Resume) 自動再生(Auto Play) フェードイン(Fade In) USB充電(USB Charging) ビープ音(Beep) ユーザー定義ボタン(User Defined Button) デフォルト設定に戻る(Load Default)
録音(Recording)	ラインイン bps(LineIn bps) 音声録音 bps(Voice bps) FM bps マイクボリューム(Mic Volume) ラインボリューム(Line Volume) 自動シンク(Auto Sync) 録音モード(Recording Mode)
FMラジオ(FM Radio)	ステレオ(Stereo) 自動検索(Auto Scan) 地域(Region)
情報(Information)	

- 設定項目はファームウェアアップグレード時に変更されることがあります。
- 設定項目の表示言語変更は [3. 画面] – [1. 言語] で可能です。
- 設定項目に対する操作法は【2. 基本機能の使用法 - 3. 設定のための基本操作】 を参考にして下さい。

2. モード切替画面(Menu)

音楽、ビデオ、FMラジオ、録音、写真、テキスト、USB Hostモードの選択や設定に入ることができます。

3. JetEffect

1. Equalizer
- すでに設定されている値を呼び出し、ユーザーが5バンドEQを設定することができます。
- ノーマル、ロック、ジャズ、クラシック、ポップス、ボーカル、ユーザEQの中から選択することができ、各EQはユーザの好みにより編集が可能です。

2. BBE
- BBEとは音楽を鮮明にする音場効果です。

3. Mach3Bass
- Mach3Bassは超低域を強調するベース増幅機能です。

4. MP Enhance
- MP Enhanceは失われた音の部分を補償する音場効果です。

5. 3D Surround
- 3D Surroundは3次元立体音響効果を提供します。

6. パン（P an)
- Panは左右音量のバランスを調節する機能です。

7. 再生速度(Play Speed)
- 音楽ファイルの再生速度を調節します。
- 70% ～ 125%まで調節することができ、ます。(サンプリングレートが44KHz以下のファイルはサポートしません)

8. JetEffect プリセット(JetEffect Preset)
- お好みのプリセットで［PLAY］ボタンをタッチしてポップアップを表示させた後、［保存］(Save)で現在のJetEffect設定値を保存するか、［適用］(Load)で保存された設定値をJetEffectに反映します。

- 過度なJetEffect設定は音の歪曲やノイズ発生の原因になります。
- JetEffectに対して詳しく知りたい場合、ホームページ(www.cowonjapan.com)のBBE MP欄を参考にして下さい。

4. 再生モード(Play Mode)

1. 再生領域(Boundary)
- ファイルやフォルダなどに対して再生範囲を設定する機能として、さまざまな範囲を設定できます。
- 再生範囲にはiAUDIO6で録音されたファイルは除外されます。

全てのファイル(All) : フォルダに関係なく全てのファイルを再生します。
１曲だけ(Single) : 1曲だけ再生します。
フォルダ(Folder) : 現在選択されているフォルダ内のファイルのみ再生します。
下位のフォルダを含む(Subfolder) : 現在選択されているフォルダの下位フォルダを含めて再生します。
- DPL、Bookmarkの曲を再生する場合、自動的に再生領域が設定されます。
- DPL、Bookmarkの曲を再生途中、リストに含まれないファイルを再生すると自動的に前の再生領域設定に戻ります。

2. リピート(Repeat)
- 再生領域で指定された範囲の中でリピート再生するかどうかを設定できます。
- 設定した場合はリピート再生となり、再生領域が「全てのファイル」ならばすべての曲が再生された時点で先頭に戻り再生が継続されます。

3. シャッフル(Shuffle)
- 再生領域に指定された範囲の中でシャッフル再生するかどうかを設定できます。
- 設定すると次の曲が任意に選択されて再生されます。

5. 画面(Display)

1. 言語(Language)
- iAUDIOで使用する言語を設定できます。

2. タイトル(Title)
- OLEDに表示されるファイルの名前をどのように表示するか設定できます。
- [ファイル名]の場合保存されたファイルの名前がそのまま表示され、[ID3Tag]の場合ファイル内のID3タグが表示されます。(ID3タグが含まれないファイルでは、ファイル名が表示されます)

3. 再生時間(Play Time)
- 再生するトラックの時間情報表示を設定できます。
- [再生した時間]は経過した再生時間を、[残りの時間]は残りの再生時間を表示します。

4. アルバム名のスクロール(Album Scroll)
- OLEDに表示されるアルバム名のスクロール方式を設定できます。
- [Off]の場合スクロールせず、[ワンウェー]の場合は左側方向に文字がスクロールします。

5. タイトルスクロール(Title Scroll)
- OLEDに表示されるタイトルのスクロール方式を設定できます。
- [Off]の場合はスクロールせず、[ワンウェー]の場合は左方向に文字がスクロールします。

6. スクロール速度(Scroll Speed)
- OLEDに表示される文字のスクロール速度を設定できます。
- 数字が大きいほどスクロール速度が速くなります。

7. 壁紙(Wallpaper)
- [音楽]モードの壁紙を設定できます。
- [無し]の場合は壁紙が表示せず、[デフォルト設定]はシステムに設定された画面が表示されます。
- [ユーザー定義設定]の場合は写真モードで壁紙として設定されたファイルが表示されます。

8. 歌詞(Lyrics)
- 歌詞データが入力されている音楽ファイルの歌詞表示を設定できます。
- 設定した場合、再生中の音楽ファイルの歌詞がOLEDに表示されます。
- 設定した場合でも再生中のファイルに歌詞データが入っていなければ表示されません。
- 歌詞データの入力方法は英語ホームページ(www.COWONJAPAN.com)内のFAQでHow to use LDB Manager.を参考にして下さい。(日本ではサポート対象外です)

9. 自動待機(Auto Display Off)
- OLEDがついている時間を設定できます。
- 設定された時間内に、何も操作しないとOLEDが消灯します。

10. 明度(Brightness)
- OLEDの明度を設定できます。

6. タイマー(Timer)

1. 時間設定(Time Setup)
- 現在の時間を設定する機能です。
- アラームおよびタイマー予約録音のために正確な時間を設定して下さい。

2. アラームモード(Wakeup Mode)
- 次の[モーニングコール時刻]で設定された時間に自動的に電源が入る機能です。
- [音楽アラーム]は音楽を再生し、[FMアラーム]の場合は最後に聞いた周波数でFMラジオモードが実行されます。
- [FM録音]の場合、設定された時間から定められた時間まで、最後に聞いていた周波数のFMラジオを録音します。
- [FM録音]の場合、通常よりも多くの電力を消費します。十分なバッテリー残量があるか事前に確認して下さい。

3. モーニングコール時刻(Wakeup Time)
- 自動的に電源が入る時間を設定できます。
- Cycle項目の[Once]はアラームが一度だけ実行され、[Daily]は毎日アラームが実行されます。
- Durationの項目はアラームが持続する時間を意味します。設定した時間を経過すると自動的に電源が切れます。

4. スリープ(Sleep)
- 設定した時間を経過すると自動的に電源を切る機能です。
- 設定した時間を経過するとファイル再生中でも自動的に電源が切れます。

5. 自動電源オフ(Auto Off)
- iAUDIO6 が停止している状態で予め設定した時間が経過するまで何も操作しなかった場合、自動的に電源が切れる機能です。
- 再生中の場合は作動しません。

7. 一般(General)

1. スキップ間隔(Skip Length)
- [<]、[>] 方向に短くタッチした時、一度にスキップする時間の長さを設定する機能です。

2. 検索速度(Scan Speed)
- [<]、[>] 方向に長くタッチした場合、つまり早送り/巻き戻しの速度を設定する機能です。
- 数値が大きいほど速い検索が可能です。

3. Silent Scan
- 早送り/巻き戻しをする場合の音の有無を設定する機能です。
- 設定すると、早送り/巻き戻しに音が出ません。

4. 再スタート(Resume)
- 電源を切る直前に再生していた音楽ファイルの位置を記憶する機能です。
- 次の項目の [自動再生] が設定されている場合、電源を入れると自動的に最後に再生していた位置から開始します。

5. 自動再生(Auto play)
- 電源を入れた後、自動的に再生を開始する機能です。
- 設定された場合、電源を切る直前に再生していた曲の先頭から自動的に再生を開始します。
- 前の項目の [再スタート] が設定されている場合、最後に聞いた曲を続けて自動的に再生します。

6. フェードイン(Fade In)
- 停止又は一時停止後の再生時に、音量を徐々に大きくする機能です。
- 音量を変化させる時間を設定できます。

7. USB充電(USB Charging)
- USB接続時の充電の可否と充電速度を設定できます。
- [Norma] lは通常の充電速度、[Slow] はNormalに比べ遅く、[Off] では充電は行われません。
- ノートパソコンなどのバッテリー電力を使用する場合はSlow設定を推奨します。

8. ビープ音(Beep)
- iAUDIO6 操作時のビープ音出力を設定できます。

9. ユーザ定義ボタン(User defined button)
- [MENU] ボタンや [REC] ボタンを長くタッチした場合の動作を設定できます。
- [MENU] ボタンはJetEffect、Boundary/Shuffle、Equalizer、DPLへ追加、Bookmark、歌詞の中から、[REC] ボタンは音声録音、Boundary/Shuffle、Equalizer、DPLへ追加、Bookmark、歌詞の中から設定できます。

10. デフォルト設定に戻る(Load Default)
- 表示言語(Language)を除いた設定情報を基本値に戻します。

8. 録音(Recording)

1. ラインイン bps(LineIn bps)
- ダイレクトエンコーディング (ラインイン端子) で録音するファイルの音質を設定します。
- bpsが大きいほど音質は良くなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。

2. 音声録音 bps(Voice bps)
- 内蔵マイクで録音するファイルの音質を設定します。
- 内蔵マイクで録音されるファイルはMono(モノラル)です。
- bpsが大きいほど音質は良くなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。

3. FM bps
- FMラジオを受信中に、[REC] ボタンをタッチして録音するファイルの音質を設定します。
- また、FMラジオのタイマー予約録音で録音されるファイルの音質もこの設定値になります。
- bpsが大きいほど音質は良くなりますが、ファイルのサイズは大きくなります。

4. マイク ボリューム(Mic Volume)
- 内蔵マイクのボリュームレベルを調節します。

5. ライン ボリューム(Line Volume)
- ラインイン端子のボリューム レベルを調節します。

6. 自動シンク(Auto Sync)
- ラインイン端子に入力される音を感知して、新しくファイルを作成する機能です。
- 設定した時間以上に無音が続いた場合、新しいファイルを作成して録音を継続します。
- 曲中に音量の小さい部分がある場合、無音部分と誤認識され複数のファイルが作成される事があります。

7. 録音モード(Recording Mode)
- 音声録音とラインイン録音のどちらで録音を行うかを選択します。
- [Voice] の場合は内蔵マイクを使用して録音され、[Line In] の場合はラインイン端子から録音されます。

9. FMラジオ(FM Radio)

1. ステレオ(Stereo)
- FMラジオを聞く時の音声出力を[ステレオ]又は[モノ]が選択できます。.
- 但し、モノラル放送の場合は[ステレオ]を選択してもモノラル音声出力になります。

2. 自動検索(Auto Scan)
- 受信可能なFM周波数を自動的に検索してプリセットに登録する機能です。

3. 地域(Region)
- FMラジオの受信地域を選択するメニューです。

10. 情報(Information)

- バージョン(Version) : 現在のファームウェア バージョンです。
- 総容量(Total Space) : 内蔵ハードディスクの全体容量です。
- 空き容量(Free Space) : 内蔵ハードディスクの残りの容量です。

1. 工場出荷状態へ初期化

iAUDIO 6には基本設定へ戻すことの他に工場出荷状態へ初期化する機能があります。
初期化した場合、これまで設定した値は削除され、工場出荷時の設定値に変更されます。
(この操作で、保存されているファイルが影響を受けることはありません)

初期化方法
1. iAUDIO 6の電源を入れた後、[音楽]モードに移動します。
2. 音楽ファイルの再生画面で再生を一時停止した後、次のように操作します。

長く

電源OFF

電源ON

3. 初期化されると製品の電源を入れた時に、言語の設定画面が表示されます。

- 製品が誤動作した時は、まず、USB端子の隣の[RESET]ボタンを押してiAUDIO 6を再スタートして下さい。その後も誤動作が度々発生する場合、工場出荷状態へ初期化して下さい。

2. CD-ROM内のソフトウェアについて

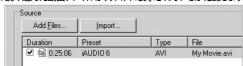
iAUDIO 6に同梱のCD-ROMには世界的に有名なマルチメディア統合再生および動画変換プログラムであるjetAudio VXおよびiAUDIO用マネジャープログラムであるJetShellが収録されています。(その他にWindows 98SE用のドライバファイルが収録されています。)

3.jetAudio VXによる動画ファイルの変換

1. jetAudio VXをインストールした後に実行します。

2. 動画ファイルの変換を行うには、上段の[Convert Video]をクリックします。

3. ビデオ変換画面が表示されたら[Add Files…]を選択して、変換したい動画ファイルを読み込みます。

4. 読み込んだ動画ファイルが、リストに表示されているか確認します。

5. 保存するフォルダおよび「Output format」を確認した後、右側上段の[Start]を押すと変換が始まります。

- jetAudio VXを使用して変換を行っていない動画ファイルの場合、正常な再生を保証しません。
- パソコンで正常に再生できる動画ファイルのみ変換することができます。
- すべてのファイルが変換されるわけではありません。また変換されたとしても破損したファイルはiAUDIO 6で再生できないことがあります。
- パソコンの性能および変換元ファイルのサイズ、コーデックの種類により、変換時間に違いが生じます。
- [Preview]をクリックするとファイルを保存せずに変換中の画面を確認することができます。
- 字幕を同時に変換する時や、設定の変更を行う時は[Options…]をクリックします。

- smiファイルは字幕ファイルです。必ず動画ファイルと同じファイル名にして下さい。
- iAUDIO 6で再生可能な動画スペックは次の通りです。
  Video : Xvid、1-pass、256 ～ 384kbps
  Audio : MP3 128kbps CBR
  Size : 160 x 128
  Frame Rate : 15 fps以下
  Interleaving time : 66ms以下

ジェットシェル(JetShell)とは?

JetShellは以下の役割をするiAUDIO用のマネージャプログラムです。
- iAUDIOへファイルを転送(Download/Upload)する機能
- Windowsエクスプローラと同じ構造のファイル管理機能
- MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストの再生
- 転送リスト(Download List)による簡単なファイル転送
- 多様なスペクトラム、イコライザ、エフェクトサポート
- CDDB、ID3タグ（v1.1）編集機能
- iAUDIO起動ロゴ転送機能
- フラッシュメモリフォーマット機能

JetShellのシステム要件
- Pentium 200 MHz以上
- メモリ 32MB以上
- 20MB以上のハードディスクの空き容量
- 256カラー以上のグラフィックカード
- Windows 98 SE/ME/2000/XP (NTでは動作しません)
- USBポート 1.1以上(USB2.0推奨)
- CD-ROMドライブ
- サウンドカード、スピーカまたはヘッドホン

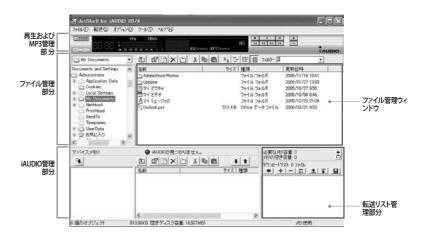
1. iAUDIOのインストールCDをCD-ROMドライブに挿入すると、インストールプログラムが自動的に実行されます。
   Windowsの設定によっては自動的に実行されない場合があります。その場合はＣＤ-ROMの「/setup.exe」または「/JetShell/setup.exe」を実行してください。

2. インストールが完了すると、「スタート → プログラム → COWON → iAUDIO 6 → JetShell」に登録されます。

3. iAUDIOをパソコンに接続します。(接続前にJetShellを実行しないでください)
   USBケーブルでiAUDIOのUSBポートとパソコンのUSBポートを接続します。
   (USBハブは使用しないでください。パソコン本体のUSBポートに直接接続することを推奨します。)

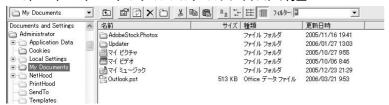
4. USBケーブルを選択すると、デバイスを検出し、iAUDIO 6 USBドライバが自動的にインストールされます。Windowsの設定によってはドライバのインストール画面が表示されないことがあります。インストールが完了すると、以下のように(XP Home Editionの場合)「マイコンピュータ」の中に「iAUDIO」というドライブが表示されます。または「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」→「ディスクドライブ」で確認できます。

5. 上記の過程が完了した後、JetShellやWindowsエクスプローラを使ってファイルを転送できます。

全体の姿

JetShellを実行すると、JetShellがiAUDIOドライブをコ制御するため、次の操作は必ずJetShellを終了してから行ってください。
- USBドライブのインストール
- Windowsエクスプローラでフォーマットする場合
- ファームウェアのアップグレード
- iAUDIOをＵＳＢから取り外す

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストの再生

ファイル管理ウィンドウでMP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストをダブルクリックするか、上図のプレーヤー部分にドラッグアンドドロップを行うとファイルの再生が始まります。また、複数のファイルを選択した後、再生ボタンを押すことで連続再生もできます。中央の黒色の画面に、再生中のファイルの進行状況および曲(ファイル)名、2種類のスペクトラムが表示されます。
右側にあるボタンで再生/停止/早送り/巻き戻し等のコントロール、「+」「-」ボタンでボリュームを調節できます。再生中のファイルの特定の位置へ移動するには曲(ファイル)名表示上部のポジションバーをクリックします。

MP3、MP2、WAV、WMA、ASF、Audio CD、m3uプレイリストの再生

JetShellのファイル管理部分はWindowsエクスプローラとほぼ同じです。左のウィンドウはツリー構造でフォルダやハードディスク、CD-ROMドライブを表示します。右のウィンドウではドライブ(フォルダ)の中にあるファイルリストを表示します。

フラッシュメモリの管理

JetShellの下部はiAUDIOのメモリ(ハードディスク)内容表示部分と転送リスト管理部分から構成されています。
iAUDIOが正常に認識されている場合は、図のように赤色の「iAUDIO動作中　」というランプとメッセージが表示されます。ユーザがパソコンからiAUDIOへ転送したファイルは中央のウィンドウに表示されます。右下に見える「メモリ使用」　は、iAUDIOの全メモリ(ハードディスク)のうち使用されている容量を棒グラフで表示しています。上の画面のような表示の場合は、iAUDIOのメモリは殆ど使用されていません。

ボタン	機能	説明
	上へ	上位のフォルダへ移動します。
	プロパティ	指定したファイルのプロパティを表示します。
	最新の情報に更新	メモリ(ハードディスク)の内容を新しく読み込んで表示します。
	削除	指定したファイルまたはフォルダを削除します。
	新しいフォルダの作成	新しいフォルダを作成します。
	切り取り	指定したファイルまたはフォルダを切り取ります。
	コピー	指定したファイルまたはフォルダをコピーします。
	貼り付け	切り取ったファイルまたはコピーしたファイルを貼り付けます。
	デバイスメモリにダウンロード	指定したファイルまたはフォルダをコパソコンからiAUDIOへ転送します。
	コンピュータにアップロード	指定したファイルまたはフォルダをiAUDIOからパソコンへ転送します。

JetShellは音楽を視覚的に表すスペクトラムを表示できます。スペクトラムが表示されている部分をクリックすると、以下のように画面が変わります。

また、[EQ]、[EFT]の部分をクリックすると、イコライザとエフェクトを変更して更に音楽を楽しむことができます。

（右クリックすると一覧が表示されます）

多様なEQ

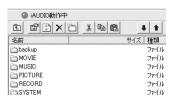
Normal
Room Reverb
Big Room
Hall Reverb
Stage Reverb
Stadium Reverb
Cathedral 1
Cathedral 2
Air Duct Reverb
Metallic Reverb
Simple Reverb
Alien 1
Alien 2
Bass Boost
Mega Bass Boost
Simple Echo
Distance Echo
Long Echo
Alpia Echo
Double Echo
Strange FB 1

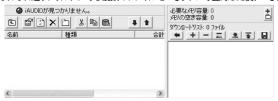
多様なEffect

MP3ファイルのiAUDIOへの転送

1. 音楽ファイルのiAUDIOへの転送は非常に簡単です。ファイル管理部分で転送したいファイルを選択した後、下向きの矢印ボタンを押すとiAUDIOに転送されます。

特定のフォルダへ転送したい場合は、予めiAUDIO管理部分で転送先のフォルダを選択しておきます。

2. または、Windowsエクスプローラと同じく、ファイル管理部分でファイルを選択した後、下のAUDIO管理部分へドラッグアンドドロップすることでも転送できます。

3.ファイル転送中の画面です。転送中には絶対USBケーブルを取り外さないでください。

4. または、下図のように転送リスト管理ウィンドウに前もって登録した後転送する方法もあります。
それぞれ違うフォルダにある複数のファイルを「+」ボタンで登録した後、「←」ボタンで一度に転送できます。

5. JetShell以外のウインドウに表示されているファイルをマウスでドラッグし、iAUDIO管理ウィンドウにドロップしても転送できます。

マニュアルを読んでもわからない事があります。
ホームページ(www.cowonjapan.com) のサポートページで製品別FAQを提供していますので参考にして下さい。ご不明な点はサポートセンターまたはホームページ内の Q&A を利用して、お問い合わせ頂ければ誠意をもって回答させていただきます。
(ホームページ内のQ＆Aのご利用には、会員登録が必要です)

電源が入りません。
バッテリーが完全に放電した場合は充電後に電源を入れて下さい。放電状態により通常より長時間充電すると製品に電源が入る場合があります。
製品の動作に異常が見られる場合は、USB端子の横にある[RESET]を押して下さい。参考までにRESETは電源を遮断する役割をするだけで製品には全く影響を与えません。

ボタンが作動しません。
電源スイッチが [HOLD] 位置になっていないか確認して下さい。

何の音も聞こえません。
ボリュームが「0」になっていないか確認して下さい。
製品内に音楽ファイルが保存されているか確認して下さい。製品の中に保存されたファイルがない場合は音が出ません。その他にも破損した音楽ファイルの場合、ノイズが出たり音が途切れることがあります。
イヤホンが奥まで接続されているか確認して下さい。イヤホン端子に異物がついている場合、ノイズが発生することがあります。

動画を再生できません。
jetAudio VXで変換してからご使用下さい。jetAudio VXで変換を行っていない動画の場合、正常な再生を保証しません。

FMラジオが聞けません。
iAUDIO6 はFMラジオのための専用アンテナはなく、接続したイヤホンを利用して電波を受信します。したがって、出来るだけイヤホンを長く伸ばして使用して下さい。
場所により電波の受信感度に違いがあります。すべての場所でFMラジオが動作しなければチューナーに問題があるかもしれませんので、この場合はサポートセンターへ点検を依頼して下さい。

録音したらノイズが聞こえます。
iAUDIO 6はハードディスクを使用したモデルです。したがって録音時に機械的なノイズが入ることがあり、デジタル機器の特性上、録音された音が不鮮明な場合があります。

文字化けして表示されます。
［設定］-［画面］-［言語］　を再設定して、［設定］-［画面］-［タイトル］　をファイル名で利用して下さい。その後も同じ症状がでる場合、追加説明にある【工場出荷状態へ初期化】を参考にして製品を初期化した後に使用して下さい。
iAUDIOはハングルWindowsを基準に開発された機器ですので、一部の特殊フォント/言語の文字が化けて表示されることがあります。

パソコンが製品を認識しません。
パソコンと接続しても電源が入らない場合、USB端子の横にある［RESET］ボタンを押して下さい。
Windows 98SEでは別途、ドライバをインストールして下さい。【Windows 98SEドライバインストール】を参考にして下さい。
接続が度々途切れて不安定な場合、を 6をUSBハブ等は経由せずにパソコン本体背面のUSB端子に直接接続して下さい。iAUDIO6 はUSB電源を使用するため、安定した電源が供給されないと接続エラーが起こる事があります。

JetShellで「iAUDIOが見つかりません」と表示されます。
パソコンに正常に接続されているか確認して下さい。パソコンが製品を認識できなければJetShellでも認識されません。
Windows 98SEでは別途、ドライバをインストールして下さい。【Windows 98SEドライバインストール】を参考にして下さい。
パソコンに接続した状態でWindows エクスプローラを実行します。正常に「iAUDIO」が認識されたのか確認した後にJetShellを使用して下さい。
JetShellの［オプション］-［デバイスの選択］でiAUDIO6 モデル名が正しく選択されているか確認して下さい。

容量が少なく表示されます。
Windowsで表示される容量表記方法とメモリおよびハードディスク製造会社で表記する方法に違いがあることがあります。したがって4GBのモデルでは3828MBの総容量であれば正常です。
iAUDIOはメモリ又はハードディスクの一部をシステム領域として使用します。したがって実際に使用できる容量は、正常な動作に必要なシステム領域を除いた値となり、僅かですが少なくなります。

容量が一杯になると動作しません。
iAUDIO6 の中には設定ファイルの保存とシステム領域に使用する部分があります。したがって約5MB程度の空き容量を残して使用して下さい。